

農林中央金庫

食と農林水産業のファーストコールバンクへ

農林水産業の所得向上や生産基盤の強化に向けて付加価値を創出・提供するために、生産から、農林水産物の加工・流通・外食・小売・輸出・消費まで、食農バリューチェーン全体を俯瞰する食農ビジネスに取り組んでまいります。

<目標・取組>

- ①大手町・丸の内・有楽町を舞台とする大丸有SDGs.ACT5などの取組みを通じて、2030年のSDGs目標達成に向けて、企業・組織が連携し、地域や食・農林水産業を含む持続可能な取り組みを「知り」「学び」「広げ」、行動変容につなげていくことを志向。
- ②輸出、スマート農業、地域活性化等をテーマに、成長資金の供与を通じて、食農産業の持続的な発展に寄与する投資を実践。
- ③食育活動の一環として、2008年より将来世代を担う子供向けに我が国の農業を紹介した教材本を全国2万校に毎年130万部配布。
- ④発展途上国の農業生産性向上と生活改善に向け、各国の大学や政府関係機関および協同組合関係者に対し、農業金融や協同組合などについて日本の経験を踏まえた講義・説明を実施。

<達成状況（2023末時点）>

- ①大丸有SDGs.ACT5を毎年開催。2023年度は「サステナブルフード」「環境」「ひとと社会のWELL」「ダイバーシティ&インクルージョン」「コミュニケーション」という5つのACT（テーマ）のもと、大丸有エリア内外の企業等との連携をさらに拡大し、SDGs達成に向けた様々なアクションを展開。
- ②ファンドを通じた農林漁業・食農関連企業への出資は累計719件・160億円。担い手や企業の成長ステージに応じた資金ニーズに対応。
- ③2022年度に「食品ロス」などのSDGsに関連するテーマを新たに追加したうえで、全国の小学校約2万校に約130万部を毎年無償配布。
- ④国際協同組合同盟の加盟メンバーとして他の協働組合組織と連携するとともに、海外の協同組織金融機関や農業系銀行とも定期的に意見交換を実施するなどナレッジシェアの観点で貢献。

<目標に向けた今後の取組>

当金庫はパーパスとして“持てるすべてを「いのち」に向けて。～ステークホルダーのみなさまとともに、農林水産業をはぐくみ、豊かな食とくらしの未来をつくり、持続可能な地球環境に貢献していきます～”を掲げています。将来にわたって農林水産業を支えるとともに、気候変動、自然資本・生物多様性、循環経済といった相互に関連する課題に対して、一体的・統合的な課題解決の視点のもと、ポジティブインパクトの創出に取り組んでまいります。

< 関連情報 >

https://www.nochubank.or.jp/news/news_release/2021/-sdgsact52021.html

<https://www.agri-invest.co.jp/>

<http://www.jabank-aes.or.jp/report/education/>

(東京栄養サミットアクションプランにおいて賛同した項目)

☒ 食料システムの変革

☒ 個人の栄養に関する行動変容の促進

☒ 食関連産業のイノベーションの推進

☒ 途上国・新興国の栄養改善への支援

【企業・団体の概要】

企業名：農林中央金庫

企業概要：農林水産業の協同組合などを会員とする協同組織の全国金融機関